

会 議 録		令和 4 年12月22日作成	令和 8 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府田辺警察署協議会（令和 4 年度第 3 回）		
開催日	令和 4 年12月21日（水）		
時 間	午後 1 時55分から午後 3 時55分までの間（ 120分）		
場 所	京都府田辺警察署講堂・署庭		
出席者	松井会長、中坊副会長、山本委員、上辻委員、柳澤委員、古谷委員 垣内委員、村上委員 （欠席 吉田委員） 計 8 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長、警備課長、広聴係長 計10人		
諮 問 事 項	災害発生時の対応について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長 2 署長挨拶 3 協議 司会 副会長 諮問事項説明 (1) 災害警備出動の体験談、救出救助の留意点、災害救助装備資機材の展示説明～機動隊 (2) 田辺警察署管内における防災について～警備課長 【委員】 救助部隊の頂点に立つ全国で 240人しかいない特別救助班に、京都府警察から11名が登録されていることに驚くとともに、心強く感じた。また、自宅にある毛布などを利用した救助方法など大変参考になったし、自助・共助・公助も理解でき、必要性についてもよく理解できた。 大型台風などの予報を受け、田辺警察署でも事前に災害用装備資機材を準備して備えていることを知って安心できた。京田辺市でも近年は自然災害が少なく、令和 2 年は避難所の開設はなく、令和 3 年は 1 度だけ開設、本年も避難所は開設せず、不安に思われる方が自主的に利用される一時避難所として公共施設を 2 箇所解放する等の準備を行った。風水害等の、事前に予測できる災害に係る避難所開設について		

会 議
内 容

は、警察とも情報共有することでより効果的な避難ができると思う。

【警察】災害への対応については京都府とも連携しており、各自治体からも連絡をもらえればありがたい。

【委員】災害対策は行政と警察が連携することが重要だと理解しているが、宇治田原町は、大規模災害で山城大橋が利用できなくなったり、国道307号が寸断されると滋賀県側とも行き来ができなくなり、陸の孤島になる。そういった中でも災害対策は行わなければならない、警察の支援は必要不可欠と考える。町役場の新庁舎はヘリポートも隣接しており、大規模災害に備えて警察との連携を強化していきたい。

【委員】レスキューの活動は何が起きるか分からない場所での対応ということで、大変困難な活動をされていると感じた。警察のレスキューと消防のレスキューとの違いはあるのか。

【警察】交通事故や水難事故等、日常的に起こる事案への対応については、消防、事故や災害など規模が大きくマンパワーが必要とされ、消防だけでは対応できない現場には、要請を受けて警察の部隊が出動している。明確な線引きは認識していないが、規模や犯罪性の有無などを考慮して出動要請がされると認識している。

【委員】災害現場でのレスキュー部隊の活動を説明してもらい、警察への認識が変わった。過酷な現場で救助活動するために日頃から厳しい訓練をされていること、その訓練が災害現場での活動に役立っている事を知ることができてよかった。

また、実際に毛布を使って傷病人を運ぶ方法など見せてもらい、いい勉強になった。それを多くの警察官の方に指導していることを知り、警察への信頼感が増した。

【委員】レスキューというと消防というイメージが強かったが、今日お話を聞き、警察の部隊もこれ程活躍されているんだと認識できた。災害発生時の自助・共助・公助について説明してもらったことは大変勉強になった。私は高齢者と同居している世帯や独居の高齢者が多い地域に住んでいることから、今日の話で周囲の方に伝えて、災害に備えようと思う。

【委員】広域緊急援助隊は、通常時は京都府警察本部で待機しているのか。訓練はどこで行っているのか。広島県の災害に出動したと説明があったが、部隊の移動は高速道路を使うのか、一般道を利用するのか。

【警察】部隊は京都市伏見区にある警察学校の敷地内にある機動隊及び各所属に配置されている。

他府県に派遣する場合は、災害に関する情報を入手しながら現地に向かう。基本的により速く、安全に到着できるように高速道路を使用

するが、災害で高速道路が使用できない場合もあり、ケースバイケースである。

【委員】昨年、京都府警察が静岡県に災害派遣され、現地で活動しているのをテレビで拝見した。先ほどの説明では、熊本県の地震の現場で余震や本震と大きな地震が続く中で活動されていたことを聞いて驚いた。先ほどの説明で「救助者が被救助者にならない」という反省教訓についての話があったが、今後も難しい判断を迫られたり、過酷な現場での活動が続くと思う。怪我等することなく、ますます活躍されることを祈念する。

会 議
内 容

【委員】宇治田原山手線が来年春頃に役場まで開通することで、生活道路が渋滞することが予想される。合流する交差点に信号を設置することや、その信号サイクル等については、宇治田原町役場の総務課も警察に相談させてもらう予定と聞いているが、渋滞緩和のため、合流する交差点の形状や信号サイクルで上手に処理できるか心配である。

【警察】国道 307号における山手線開通前の交通量や渋滞状況の調査を行い、信号サイクルなどを検討することとなる。開通後も通行量や渋滞の状況を調査し、改善を図っていくことになる。

4 事務連絡

令和4年度の警察署協議会第4回は、コロナウイルス感染の状況を見極め、来年2月頃に開催を予定している。

以上

第2回京都府田辺警察署協議会の開催状況

